# 平成 28 年度 東京都内湾水生生物調査 2 月鳥類調査 速報

# ●実施状況

平成 29 年 2 月 27 日に鳥類調査を実施した。この時期は越冬期にあたり、冬鳥のカモ類やカイツブリ類、カモメ類が多く確認された。天気は曇りで、気温 8.1~9.9°C、北寄りの風が 2.1~ 3.5m/sec であった。調査当日は大潮で、干潮が 11 時 42 分(52cm)、満潮は 5 時 52 分(186cm)、17 時 24 分(195cm)であった(東京都港湾局のデータ)。各地点の概況を下表に示す。

	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻					
作業時刻	14:12-15:04	9:35-10:45	11:20-12:00					
天候	<b>曇り</b>	曇り	曇り					
気温(℃)	9.0	9.9	8.1					
風向	東北東	北	北北西					
風速(m/sec)	3.5	3.2	2.1					
備考	上げ潮時に調査を行った。 干潟が広く干出していた。	第六台場や鳥の島の樹上では、カワウが営巣を始めていた。鳥の島の下草が刈られていた。	最干潮時に調査を行った。					

# ●主な出現種等

	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻
数が多かった	スズガモ(3058 羽)	スズガモ(779 羽)	ユリカモメ(83 羽)
鳥類上位 2 種	カンムリカイツブリ(2810羽)	カワウ(736 羽)	コガモ(62 羽)
その他の 鳥類	マガモ、ウミアイサ、ハジロカイツブリ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、シロチドリ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、ミサゴ、カワセミ、ハクセキレイ。	マガモ、カルガモ、オナガガモ、ホシハジロ、カンムリカイツブリ、アオサギ、オオバン、イソシギ、ユリカモメ、ウミネコ、セグロカモメ、ハクセキレイ。	カモ類(カルガモ、ホシハジロなど)、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、カワウ、アオサギ、コサギ、オオバン、セグロカモメ、オオセグロカモメ、ハクセキレイ。
備考	<ul> <li>・海上ではスズガモ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリなどが採食と休息。</li> <li>・干潟ではシロチドリがはシロチドリスではシロットでは、クロットをでは、クロットをでは、クロットをでは、クロットをですがないでは、クロットがはいまり。</li> <li>・重要種として、8種をせ、カウロットが、カウロットでは、カウロットをでは、カウロットをでは、カウロットをでは、カウロットをできる。</li> <li>・重要をは、カウロットをできる。</li> <li>・重要をは、カウロットをできる。</li> <li>・重要をは、カウロットをできる。</li> <li>・重要をは、カウロットをできる。</li> <li>・重要をは、カウロットをできる。</li> <li>・カウマランをできる。</li> <li>・カウマンをできる。</li> <li>・カウマンをできるのできる。</li> <li></li></ul>	<ul> <li>・第六台場、鳥の島ではカワウの抱卵個体を確認した。</li> <li>・海浜公園側の護岸や干潟、砂浜ではスズガモなどのカモ類、ユリカモメなどが休息や採食。</li> <li>・重要をして、4種を確認(スズガモ、カンムリカイソンボガモ、オオバン、イソシギ)。</li> </ul>	<ul> <li>・干潟ではカワウが休息、カモ類やカモメ類が休息や採食。</li> <li>・護岸ではカモ類が採食や休息、ハクセキレイが採食。</li> <li>・水面ではオオバンやカモ類が休息や採食。</li> <li>・重要種として、3種を確認(カンムリカイツブリ、コサギ、オオバン)。</li> </ul>

# ●出現種と個体数

		科	種名		5月			6月			8月			9月			1月			2月		重要種 選定基準			
No.	目			葛西人工渚	海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚	海浜公園 お台場	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚	海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚	海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚	海浜公園 お台場	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚	海浜公園	森ヶ崎の鼻	文化財*1 保護法	種の*2 保存法	環境省 <sup>*3</sup> RL 2012 鳥類	東京都 RL 2010 (区)
	カモ	カモ	ヒドリガモ		ļ											4	1	1							
2			マガモ	3														3	1	9	12				
3	4		カルガモ	10	6	16	3	3	13	10	4	14	3	19	7		12	23		19	27 7			ļ	
4 5			オナガガモ コガモ												3	3	5	23		10	62			<del> </del>	
<u>5</u>			ホシハジロ		<del> </del>										3		24	90		7	29			<del> </del>	
7			キンクロハジロ														24	30			1			1	
8			スズガモ				10			7			3			3392	780	21	3058	779					留
9			ウミアイサ																2						DD
10	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	8												518	12		2810	1	1				留
11		<u> </u>	ハジロカイツブリ													1	3		40		1				
	カツオドリ	ウ	カワウ	93		10	1236		19	638	509	95	111	313	25	19	254	14	7	736	11			-	ļ
	ペリカン	サギ	ゴイサギ		2		ļ	1						ļ					ļ			L		ļ	
14 15			ササゴイ	5		3	28		13	17	22	11	28	1 19	17	8	26	9	3	47	4			ļ	CR
16			アオサギ ダイサギ	4		3	10	53 8	13	17	16		25		19		26	9	3	4/	4				VU
17			コサギ	13		3	12		4	16	10		15		12	3					1			-	VU
18		<b>h</b> +	ヘラサギ	13		3	14	1/1		10	10	!.!.	10		14	1			1					DD	VO
19		i ,	クロツラヘラサギ													1			1					EN	CR
	ツル	クイナ	パン		<b></b>					1															VU
21			オオバン			-							2				10	34		29	24				VU
22	チドリ	チドリ	ムナグロ	4																					VU
23			ダイゼン	2																					VU
24			コチドリ			2			2	1															VU
25			シロチドリ		ļ	3			5	68		1				20			3					VU	VU
26		- h-1*11	メダイチドリ ミヤコドリ	40						4													国際	-	NT
27 28		ミヤコドリシギ	ミヤコトリ チュウシャクシギ	43 2		2																			EN VU
29		シャ	ダイシャクシギ	2			1			2			1											<del> </del>	CR
30	1		ホウロクシギ	1	<b></b>		1			1													国際	VU	CR
31	Ì		アオアシシギ	7	<b>†</b>		·						1											†	NT
32			キアシシギ	7	15	5				1	2		1												VU
33			ソリハシシギ										3												VU
34			イソシギ	2	1	3	1	3	2	1	4	2		5	4	1		2		1					VU
35			キョウジョシギ	22		73						1													VU
36	1		オバシギ	6		ļ	ļ	ļ						<u> </u>		ļ			ļ				国際	<del> </del>	EN
37	-		ミュビシギ トウネン				<del> </del>						2						ļ					ļ	EN NT
38 39	1		ハマシギ	15 359			<del> </del>						2	<del> </del>		4			<b></b>					NT	NT
40	1		キリアイ	339									1			4								INI	CR
41	1	カモメ	ユリカモメ	727	32	8									26		87	57		386	83				1
42			ズグロカモメ		<u>J</u>		t									1			l	- 550				VU	1
43			ウミネコ	6		2	171		2	580	4	128	467	9	203					2					
44	]		セグロカモメ	6												1	2	1	9	14	7				
45			オオセグロカモメ				8			6			2		2			1	1		1				
46	1		大型カモメ	3			11	ļ		9		7	5	ļ					ļ					ļ	ļ
47			コアジサシ	15	14	152	1	ļ	101					ļ					ļ					VU	EN
48	<b>6</b> 4	-4-2°	アジサシ	81	1																			l NIT	
	タカ ブッポウソウ	ミサゴ	ミサゴ カワセミ		<b></b>	1	ļ						1			2	1	1						NT	EN VU
	フッホワソワ スズメ		カリセミ ハクセキレイ	1	2			2	2	3	5	4		2	2	1	2	4	1	2	7			<del> </del>	VU
52		ヒイレイ	タヒバリ								- 3	4				2		1	<del> </del>						-
υZ		9目13科5		97 ££	1.4 \$	15 種	13 種	8種	11 55	17.00	0.56	10.55	10 SF	9種	11 85		1125	17.56	15 86	1.4 至	1 C 10	0 種	3種	8種	31 種

<sup>■ 19</sup>目3科51種 | 27種 | 14種 | 15種 | 13種 | 8種 | 11種 | 17種 | 9種 | 10種 | 9種 | 11種 | 1名「大型カモメ」は確認種数には数えない。
\*1文化財保護法:
\*2種の保存法(2017年1月改正): 国際:国際希少野生動植物
\*3環境インドリスト: EN:絶滅危惧 I B類、VU:絶滅危惧 I頂、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足参照:http://www.biodic.go.jp/rdb/rdb\_f.html
環境省自然環境局野生生物課、2012年、環境省第4次レッドリスト。
\*4東京都レッドリスト2010: CR:絶滅危惧 I A類、EN:絶滅危惧 I B類、VU:絶滅危惧 II類、NT:準絶滅危惧、留:留意種東京都環境局自然環境部。2010年、東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)~東京都レッドリスト~2010年版.

### <葛西人工渚>

#### ○調査地点の状況

干潟が広く干出していた。













### 〇出現種 (ヘラサギ、クロツラヘラサギ)

西側の護岸で休息していた。現地では識別できなかったが、ヘラサギ1羽とクロツラヘラサギ1羽 が葛西人工渚に滞在していることが葛西臨海公園鳥類園スタッフのブログに掲載されている(http://choruien2.exblog.jp/)。ヘラサギは環境省レッドリスト(2012)では情報不足(DD)、クロツラヘラサギは環境省レッドリスト(2012)では絶滅危惧 I B 類(EN)、東京都レッドリスト(2010)では絶滅危惧 I A 類(CR)に指定されている。

#### 〇出現種 (スズガモ、カンムリカイツブリ)

海上で群れで休息や採食をしていた。日本野鳥の 会東京によると、東京湾では、スズガモは数万羽、 カンムリカイツブリは数千羽が越冬している。両 種とも東京都レッドリスト(2010)では留意種に指 定されている。

### 〇出現種 (ハジロカイツブリ)

海上で採食していた。群れで一斉に潜水して小魚 などをとる。冬羽は顔からくびが淡褐色。夏羽で は顔からくびは黒く顔に金色の飾り羽がある。目 は赤い。夏羽になっている個体も確認した。

# くお台場海浜公園>

#### 〇調査地の状況

第六台場。カワウ、アオサギが営巣中。

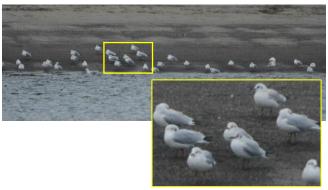


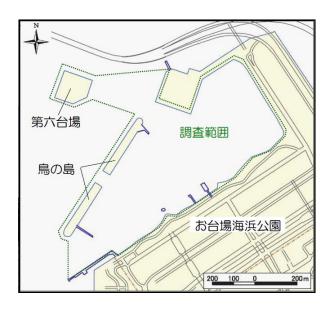
鳥の島











# 〇出現種 (カワウ)

第六台場や鳥の島の樹上の巣で休息していた。1 月調査時よりも抱卵姿勢(巣に深く座り尾を上げた姿勢)のカワウの数が増えていた。カワウは抱卵日数 24~32 日でヒナがふ化する。1 月に抱卵姿勢を確認してから、30 日以上経過しているが、ヒナは確認できなかった。鳥の島で下草の伐採が行われたようだが、カワウの個体数は1月調査時よりも増加しており、カワウに対する影響はみられなかった。

# 〇出現種 (マガモ、カルガモ)

水上で採食や休息していた。マガモのオスは頭部 に緑色光沢があり体は灰白色。メスは全体的に褐 色。カルガモは雌雄同色。両種とも植物の種子な どを採食する。

### 〇出現種(ユリカモメ)

砂浜で休息していた。冬鳥として渡来し、春先まで個体数は多い。冬羽では頭部は白いが、夏羽では頭部が黒くなる。くちばしと足は赤い。別名で都鳥(みやこどり)と呼ばれることから、「東京都民の鳥」に指定されている。

## く森ヶ崎の鼻>

### ○調査地点の状況

干潟が広く干出していた。









# 〇出現種(オナガガモ)

護岸で採食や休息をしていた。オナガガモのオスは頭部が黒褐色で、顔の後ろからくびが白色。くちばしには青鉛色がある。尾は長く伸びる。メスは、全身褐色。水面で採食したり、逆立ちして水底の植物などを採食する。

### 〇出現種 (ホシハジロ)

水上で休息していた。オスの頭部からくびは 茶褐色で胸は黒い。メスは頭部からくびは褐 色。水生植物などを採食する。



## (セグロカモメ、オオセグロカモメ)

干潟で採食や休息していた。両種とも互いに似ているが、背や翼上面の色で識別できる。セグロカモメは青灰色で、オオセグロカモメはセグロカモメよりも濃い灰黒色。どちらも魚類を好んで採食する。



